

宮城大学同窓会

2010年度(2010.10.1～2011.9.30)決算・活動報告
および

2011年度(2011.10.1～2012.9.30)予算・活動計画

資料

- 1 宮城大学同窓会について
- 2 10年度活動報告・決算報告
- 3 同窓会としての現役学生支援について
- 4 東京就活バスツアー実施について
- 5 被災学生支援募金について
- 6 同窓会運営委員会人事
- 7 11年度活動計画案
- 8 11年度予算案
- 9 同窓会規約

宮城大学同窓会とは

趣旨

- ① 卒業生の名簿(連絡先)管理
- ② 卒業生同士の交流促進
- ③ 卒業生と現役生・教職員間の交流・支援
- ④ その他、宮城大学のためになることをする

特徴

- ① 低コスト運営
- ② 最低限の機能と、事業実施とを分離
- ③ IT活用

卒業生の皆様、学内の皆様へ

様々な単位での集まりや呼び掛け・案内について、同窓会へ登録した卒業生に情報を配信することができます。ご希望の方は、同窓会運営委員会まで連絡を下(例えば:〇〇学部〇〇年卒業生の同窓会を開催したいので、該当年次の方々へメッセージを送って欲しい、学内でイベントを開催するので情報を流して欲しい 等

連絡先

宮城大学同窓会運営委員会

郵便 〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

メール admin@amyus.net

Twitter myudousoukai

委員長 畠山 直樹(事業構想学部2002年卒)

直通電話 090-1060-8836

(平日は仕事がありますので、お急ぎでなければ夜間にお電話下さい)

沿革

2006.夏頃 「同窓生パーティー」開催に向け有志を募る

2007.2.10 「同窓生パーティー」を仙台にて開催し、同窓会設立の賛同を得る

2007.12.1 設立総会開催、発足

2009.2.7 同窓会パーティーを仙台にて開催

2010.3.28 交流企画として上野公園にて花見を開催

2011.3 「被災学生支援募金」集約

2011.4 「学生支援委員会」設立、就活セミナー開催

2011.5 「東京就活ツアー」実施

宮城大学同窓会 2010年度活動報告

年月日 内容

2011年 3月	卒業生対象の入会受付 学生支援委員会設立
2011年 4月	入学生対象の入会受付 就活支援セミナー実施
2011年 5月	東京就活ツアー実施
2011年 10月	被災学生へのお見舞金配布

2010年度の活動について

東日本大震災発生に対応する学生支援を目的に、規約上の特定目的実行委員会にあたる「学生支援委員会」を設立し、「就活支援セミナー」「東京就活ツアー」等の実施にあたりました。また、卒業生の皆様から募金を広く集め、これを被災された学生の方々に対し、一律2千円を「お見舞金」としてお渡ししました。(大学の被災状況調査に基づき実施された、宮城大学後援会からのお見舞金配布と同時に実施)お見舞金については、当初の想定人数から更に追加配布があったため、これに対応するため、同窓会会計から9万円を拠出しております。

宮城大学同窓会運営委員会・学生支援委員会 2010.10～2011.9.決算報告

作成: 畠山、更新日: 2011/12/17

収入		計	備考
	2011.3卒業生会費収入	249,000	
	2011.4入学生会費収入	369,000	
	その他年次 会費収入	7,000	
	引継ぎ繰越金	1,653,193	
	収入計	2,278,193	

支出	費目	明細	計	備考
webサーバ費		ドメイン維持費	1,800	
		サーバレンタル12ヶ月分	54,000	
事務用品費		事務用品	72,539	(うち、学生支援関連として¥45,112-)
		会議費		
移動費		移動費	170,631	(うち、学生支援関連として¥39,313-)
		宿泊費	84,100	(うち、学生支援関連として¥68,800-)
		会議室費	53,246	(うち、学生支援関連として¥49,250-)
通信費		切手・郵送料・手数料	605	
		その他		
		お見舞金	90,000	
	支出計		526,921	

収支計	(収入計－支出計)	¥1,751,272
-----	-----------	------------

上記の通り報告いたします。

2011年12月17日
宮城大学同窓会
運営委員会 委員長
畠山 直樹

宮城大学同窓会「学生支援委員会」について

3.11震災以降、現役生の直面するであろう状況に危機感を持った卒業生が集まりました。皆、本業を抱えながらの手弁当ですが、愛校心を原動力に、活発にスピード感を持って活動しています。メンバーのMYU卒業生には人材企業勤務、企業人事部在籍、キャリアカウンセラー等が揃いました。御協力頂ける方を、随時募集しています。

●時系列

- ・2011/3/13 3.11震災を受け、構想2002卒・武者さんの声掛けで渋谷にて卒業生有志(武者、畠山、高山)が集まり、卒業生として何が出来るかを話し合う。募金、就活生への滞在先支援等の案を出す。
- ・2011/3/16 同窓会会員の皆様へ、協力メンバー募集の呼び掛けメールを送信
- ・2011/3/17 同窓会会員の皆様へ、第2報を送信
- ・2011/3/25 渋谷にて有志による初回ミーティングを行い、今後の方向性を話し合う。
- ・2011/3/30 就活支援について学生ニーズ把握のアンケート開始
- ・2011/3/31 「宮城大学の就活生応援ブログ」開始
- ・2011/4/1 「学生さんからの就活相談」受付を開始
- ・2011/4/3 「卒業生の現勤務先情報」収集開始
- ・2011/4/4 大学訪問し、西垣学長以下の学内関係者とお会いする
- ・2011/4/6 新宿にて第二回ミーティング実施。
「就活セミナー」緊急開催を決定。
「東京遠征就活バスツアー」開催構想を議論。
他、学生向け情報提供について話し合う。
- ・2011/4/7 「東京遠征就活バスツアー」無償運行協力バス会社決定
- ・2011/4/8 「東京遠征就活バスツアー」協力企業探しを開始
- ・2011/4/11 現役生に向け「4/16就活セミナー」開催告知
- ・2011/4/12 新宿にて第三回ミーティング実施。
「東京遠征就活バスツアー」期間中プログラムについて等話し合う。
- ・2011/4/13 「東京遠征就活バスツアー」協力企業3社決定
- ・2011/4/14 「就活セミナー」実施について、報道各社へ投函実施
- ・2011/4/16 仙台市内にて「就活セミナー」実施。20名以上の学生さんが参加。
人材業界OBからの現状説明と、小人数のグループ相談会を実施。
同日 宮城大学徳永学生部長、藤原教授、高力准教授、須田准教授と面会。
キャリア開発講義への協力を申し出ました。
- ・2011/4/19 「被災学生支援募金」累計金額31万円となりました。
- ・2011/4/20 Skypeにてビデオミーティング実施
- ・2011/4/21 「東京遠征就活バスツアー」無償宿泊先決定
「東京遠征就活バスツアー」協力企業5社決定
ご協力頂いている卒業生に向け、活動報告メール送信
- ・2011/4/25 「東京遠征就活バスツアー」受付開始
- ・2011/5/2 「東京遠征就活バスツアー」協力企業説明会スケジュール決定
- ・2011/5/6 4年生オリエンテーションに高山委員長参加、「東京遠征就活バスツアー」告知
- ・2011/5/7 宮城大学田邊教授、事務部千田様と面会し、今後の協力体制について話し合いました。
同日、支援委員会MTG開催しました。
- ・2011/5/15-21 「東京遠征就活バスツアー」実施
- ・2011/6/8 事業構想学部三年時キャリア開発講義にメンバーが参加しました。
- ・2011/9/8 事業構想学部藤原教授よりご依頼頂き、ゼミ生の東京訪問時の懇親会に参加させて頂きました。

OBOG訪問の仲介等、随時御相談お受けしております。

2011.5.15-21東京就活バスツアー実施報告

宮城大学同窓会学生支援委員会 委員長 高山純人
宮城大学同窓会運営委員会 委員長 畠山直樹

宮城大学同窓会では、3.11震災直後から同窓会SNS登録者へ向け「母校支援」についての呼び掛けを行い、集まったメンバーでアイデアを出し、募金集めをはじめとして、多岐に渡る支援準備を行ってまいりましたが、その一環として、人材業界在籍のOBを中核に、就活生を直接支援する活動を開始しました。

2011.4.16に仙台で緊急開催したセミナーや、学生との直接コミュニケーションを通じ、「首都圏で就職活動をしたいが、交通・宿泊手段の確保に悩んだり、震災がエントリーの重要時期だったこと、周囲への遠慮から、自身の就職活動について気後れしている」方が多いことに注目し、「機会提供と、先輩としての密着指導を行いたい」という思いから、「東京就活バスツアー」を企画し、NPO・自治体・企業の協賛を得て実行に移しました。往復のバス、宿泊先は協賛を得て無料での提供、また卒業生勤務先の企業から特別説明会の開催を取り付け、学生から申し込みを受け付けました。

かなり短期間での準備でしたが、卒業生有志のスタッフに恵まれ、各所にもスピーディーにご協力頂き、延べ40名の学生(現地合流含む)にご参加頂き、充実した内容での実施にこぎ着けることが出来ました。

参加された皆様は、期間中に計8回の説明会(7社の個別説明会、及び40社合同の説明会)のほか、各自で申込みをした企業説明会・選考過程に参加されました。

今回企画上で、安全面の配慮としては、参加者全員に「国内旅行保険」へ加入頂いたほか、宿泊施設には引率役として卒業生が交代で宿泊しました。参加者には携帯web上から帰宿報告を上げて頂くのに加え、直接点呼で毎日安否を確認しました。

各日の報告

2011.5.15(土)

12時に33名の学生を乗せ、行き便のバスが仙台市役所前を出発しました。

今回のバスは「仙台セントラルバス」様から協賛提供を頂きました。

夕方には大田区の施設「平和島ユースセンター」に到着しました。

初回オリエンテーションを実施し、同窓会学生支援委員会メンバーの自己紹介と、今回ご協力頂いた大田区被災地支援調整担当の方や、

滞在中お世話になる大森西地区女性ボランティアの皆様をご紹介させて頂きました。

期間中は平和島ユースセンターにて連日、女性ボランティアの皆様が心を込めて作った食事が無料で提供され、また被災地支援についての情報交換等も行われました。

その後、今回協賛頂いた3ヶ所の宿泊施設(平和島ユースセンター、東京グリーンパレス、ホテルアイビス)に分散移動し、プログラムがスタートしました。

2011.5.16(月)

40社が実施する合同説明会「ディスコ キャリアフォーラム」に14名が参加されました。

2011.5.17(火)

午前「リクルートエージェント」社の会社説明会・見学会に16名が参加されました。

午後「スパイスボックス」社の会社説明会に14名が参加されました。

夜、学生支援委員会メンバーと卒業生有志が参加する「面接対策実践講座」を開催し、5名の卒業生と20名の学生が参加されました。

2011.5.18(水)

早朝、「ザ・リッツ・カールトン東京」様より特別朝食会にお招き頂きました。

午前、「ソフトバンクグループ」会社説明会に25名が参加されました。

午後、「ユナイテッドアンドコレクティブ」社の会社説明会に5名が参加されました。

夜は卒業生と学生の懇親会を開催し、8名の卒業生と15名の学生が参加しました。

2011.5.19(木)

午前「楽天」社の会社説明会に10名が参加されました。

午後「日本トイザらス」社の会社説明会に9名が参加されました。

夜、学生支援委員会メンバーと卒業生有志が参加する「面接対策実践講座」を開催しました。

2011.5.20(金)

午後「イー・アクセス」社の会社説明会に10名が参加されました。

夜、「最終日オリエンテーション」を開催し、振り返っての反省を行い、学生からは今後に向けての様々なご意見を頂きました。

2011.5.21(土)

最終日、期間中大変お世話になった大森西地区女性ボランティアの皆様をはじめ、大田区の方々に見送りを頂き、帰り便のバスが12時に

平和島ユースセンターを出発しました。

途中休憩を挟み、17時に仙台へ到着しました。

今回、卒業生の皆様、学内の皆様、学外の皆様より多大なご協力を頂き、意義深いツアーを無事に実施することができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

◎今回ご協力頂いた学外の皆様(敬称略、五十音順)

・GANBARO ↑ MIYAGI宮城復興支援センター

・大森西地区女性ボランティアの皆様

・ザ・リッツ・カールトン東京

・仙台セントラルバス

・東京都大田区

・ホテルアイビス

・ホテルグリーンパレス

◎メディア露出

2011.5.14 河北新報

2011.5.15 NHK

2011.5.15 時事通信

2011.5.15 東北放送

2011.5.15 毎日新聞

2011.5.16 JCN大田

2011.5.18 読売新聞東京版

2011.5.23 日経産業新聞

2011.5.23 東北放送

2011.5.24 東洋経済HRオンライン

学生支援のための募金を寄せて下さった方々

コサダ ヒロカズ
タイラ ジュンイチロウ
ヤマダ ナオコ
ササキ ユウスケ
フクダ ケイスケ
イソザキミナ
オオムラ サトシ
タカハシ ノゾミ
イシバシアツシ
タカハシサトコ
スズキユリコ
タダ スミエ
ハタケヤマ ナオキ
キムラヤヨイ
カモ アキラ
モリシゲ イツミ
テラグチケイ
タカネ ユウト
サトウ カオコ
ヤマモトナオミ
サトウ トモヒデ
ミュキ カオル
フジタ テツロウ
クマサカヤスヒロ
ムシヤタツジロウ
テルイ ケンヤ
タケダ ミキエ
ソウマキヌコ
ナルミ アキラ

29名の方から、計370,000円の募金をお寄せ頂きました。
同窓会会計からの拠出90,000円とあわせ、後援会が配布した「災害見舞金」と同時に「同窓会から」として230名の方に一律2000円を配布させて頂きました。

同窓会運営委員会 2011年度(2011.10.1～2012.9.30) 役員人事案

役職	氏名	入学年次	卒業時所属	卒業年次
委員長	畠山 直樹	1998	事業計画学科	2002
副委員長	澤口 利絵	1999	看護学科	2003
副委員長 (今年度新任)	高橋 翔	2005	ファームビジネス学科	2009
会計	中山 聖子	1998	事業計画学科	2002
会計監査	幸 かおる	1998	事業構想学研究科	学部2002 院2004
委員	岩岡 美樹	1997	看護学科	2001
委員	大村 哲	1997	事業構想学研究科	学部2001 院2003
委員	松尾 尚美	1997	看護学科	2001
委員	渡辺 一馬	1997	総合系	2001
委員	岩澤 仁子	1999	事業計画学科	2003
委員	鈴木 美幸	1999	事業構想学研究科	2003
委員	高山 純人	2000	事業計画学科	2004
委員	嶋田 圭	2005	ファームビジネス学科	2009
委員	青木 香奈子	2005	ファームビジネス学科	2009
委員	石倉 若奈	2005	フードビジネス学科	2009
委員	佐藤 宏美	2005	フードビジネス学科	2009
委員	小野寺 敬子	2005	環境システム学科	2009
委員	佐藤 雄真	2005	環境システム学科	2009

宮城大学同窓会 2011年度(2011.10.1～2012.9.30) 活動案

年月日	内容
2011年 12月	定期総会(web上で実施)
2011年 11～翌3月	卒業生への入会案内、会費收受
2012年 3/16	2012卒生卒業式において同窓会入会案内
2012年 3/17	2011卒生卒業式において同窓会入会案内
2012年 3～4月	入学生からの会費收受
2012年 秋	大学祭と同時に、ホームカミングデー(仮称)企画 両キャンパス実施

※運営委員会は不定期で随時開催

今年度以降の活動について

1. 同窓会の運営全般について

2007.12月に同窓会を立ち上げてから4年が経過し、毎年運営委員に大きな負担の掛かっていた卒業時の会費収受が本年度で一巡、今後は基本的に入学生からの収受となることで、運営委員として一番神経を使うお金の流れについて、仕組みとしての流れが確立されます。

「同窓会がない」時代から、「あって当たり前」という時代に入り、震災以降は、宮城大学同窓会として卒業生同士の交流・結束をより一層深めながら、現役生・大学支援を行うべきフェーズに入ったものと考えております。とはいえ、卒業生有志の手弁当で全てを進めている現状では、できることにも限りがあり、設立から4年の間にも見えてきた課題が数多くありますので、今年度以降、大学との協力を得ながら、抜本的な部分で改善を進めて行けたらと考えております。

●課題

- 1)運営委員主要メンバーが働き盛りの年代となり、本業での責任が年々重くなり、同窓会に割く余裕が無くなりつつある
- 2)例年、会費納入者数に比べSNS登録者の割合が少ない。卒業間際の案内には限界があり、今年度以降はSNS案内時期の前倒しを行いたいが、SNSという仕組み自体への敬遠も考えられることから、今後は住所も含めた名簿管理も検討したい。とはいえ少人数の運営委員では名簿式の管理は不可能とも考えており、課題が多い。
- 3)大学とは別組織であるため、入ってくる情報や、取れる連携も限られている。同窓会運営委員は基本的に平日退勤後か休日しか動けないため、密な連絡が取りづらい。

同窓会の運営については、設立準備からはじまり全て卒業生有志の手によって担って参りましたが、今後の会の円滑な運営と目的達成のためには、卒業生に対する大学の考えを確認した上で、今後会員情報の管理や事務作業、同窓会の窓口対応等、流れができつつある部分については、大学からの協力を仰ぐことも視野に入れて行きたいと考えております。

大学に対しては、同窓会設立以前から継続要望として「既卒生の実家宛に同窓会の案内を送って欲しい」という御願いをしておりますが、当時は個人情報保護を理由として断られておりましたが、例えば大学を主体として同窓会を運営して頂くならば、状況に変化を起こせるのではないかと、とも考えております。

また卒業生の幅が広がってきたことに対応するため、年次・学部学科代表制等の検討を行ったり、大学の人的協力が得られれば、SNS以外の手段で卒業生連絡先を把握し、Eメール以外の手段での連絡も選択肢に入れる等、同窓会運営方法を全般的に見直して行きたいと考えております。(畠山)

2. 同窓会 学生支援委員会について

人事

委員長 高山純人
副委員長 鳴海晃
委員 太田浩之、尾田将史、畠山直樹、武者達次郎、若新雄純

～～～

宮城大学同窓会運営委員会 2011.10~2012.9.予算案

作成: 島山、更新日: 2011/12/17

収入			計	備考
		2012.3卒業生会費収入	360,000	学部・院 400名のうち9掛けの360名入会を想定
		2012.4入学生会費収入	360,000	学部・院 400名のうち9掛けの360名入会を想定
		引継ぎ繰越金	1,751,272	
	収入計		2,471,272	

支出	費目	明細	計	備考
IT費		ドメイン維持費	1,800	
		サーバレンタル12ヶ月分	54,000	
		メール配信ソフト購入	100,000	
事務用品費		用紙代等	10,000	
会議費		交通費・宿泊費	300,000	
		会議雑費	30,000	
	支出計		495,800	

収支計	(収入計－支出計)	¥1,975,472
-----	-----------	------------

収入に関しては、本年度までは卒業生・入学生の双方から会費収入がありますが、同窓会を設立した2007.12以前に入学された方からの「卒業時収受」が一巡し、来年度以降は基本的に入学生からの収受のみとなるため、以後はずっと収入規模が半減することとなります。年間約36万円の収入と、それまでの約200万円のストックで会の運営をやり繰りすることとなります。

宮城大学同窓会規約

- 総則**
- 1 本会の名称を、宮城大学同窓会とする。
 - 2 本会は、会員の自発的な意志により、会員間、並びに会員と学生、父母、大学教職員との交流、連携促進、その他、宮城大学の発展に寄与することを目的とする。
 - 3 本会の連絡先を、宮城県黒川郡大和町学苑1に置く。
 - 4 第2条の目的を達成するため、2種類の委員会を設置する。
 - 1 会全体の渉外・会計・連絡役として活動を行う「運営委員会」
 - 2 その他、本会の目的達成のため必要の都度結成し活動する「特定目的実行委員会」
- 会員**
- 5 本会の会員資格は、以下の要件を全て満たした者とする。
 - 1.宮城大学各学部・各研究科の在籍経験者
 - 2.別途定める本会の入会金を支払った者
 - 3.運営のための連絡が取れる者
- 会計**
- 6 本会の経費は、会員の入会金、会費及び寄付金をもってあてる。
 - 7 本会の会計年度は、毎年10月1日より翌年9月末日に至る1年間とする。
- 総会**
- 8 本会は、年一回、定期総会を開催し、必要に応じて不定期に臨時総会を開催する。
 - 9 総会は、運営委員長が召集する。
 - 10 総会は会員の過半数の参加(電子的手段等による委任を含む)によって成立し、その決議には出席者の過半数の賛成を要する。
- インターネット上の総会
- 11 総会は運営委員会が設置するインターネット上のコミュニティで開催を行うことも可能とし、その決議結果については、公示後1ヶ月以内に全会員中1/5の反対票が無い場合に承認される。
- 運営委員会**
- 12 本会に、唯一の常設機関として会全体の渉外・会計・連絡を協議・遂行するための「運営委員会」を置く。
 - 13 運営委員会は、日常の交流、また、期中での意志決定や告示・公示を行う手段として、インターネット上のコミュニティを設置・運営する。
 - 14 運営委員会は、12条、13条の業務の他、会員相互が様々な交流単位(在学中の旧所属ゼミ・学年・学科・サークル、居住地や職種等の、任意の単位)を形成し、連絡を取り合うための仕組み作り・呼び掛けを行う。
 - 15 運営委員会の管掌事項は12～14条に定めた範囲に限定し、それ以外の事業・活動を行わない。
 - 16 運営委員会に、以下の役員を置く。

委員長	1名
副委員長	2名以上
会計役	1名
会計監査	1名
委員	若干名
 - 17 運営委員会各役員の任期は年度末までとし、翌年度の再任を妨げない。
 - 18 運営委員長は、本会の会務を統括し、運営委員会を招集する。
 - 19 副委員長は委員長の活動を補佐し、必要に応じて代行を行う。
 - 20 委員長、副委員長、会計役の人事は自薦・他薦によって選出し、総会の承認を経る。
 - 21 委員は委員長が任命し、1ヶ月の公示期間を経て承認される。
 - 22 運営委員会は不定期に開催し、決定事項は1ヶ月の公示期間を経て承認される。
 - 23 運営委員長は毎年会計年度後に開かれる最初の総会にて活動報告を行い、その承認を得なければならない。
 - 24 会計役は毎年会計年度後に開かれる最初の総会において会計報告を行い、その承認を得なければならない。
- 特定目的実行委員会
- 25 本会では、各会員の自発的な意思により、個別の懇親会、その他会の趣旨に沿った活動を行う「特定目的実行委員会」を結成することができる。
 - 26 特定目的実行委員会の新規設立は、以下の手順により行う。
 - (1)会員有志が事前に設立趣旨、基本人事、活動内容、予算、成果予測について計画を策定した上で、インターネット上で2週間以上の期間をかけたパブリックコメントを集める。
 - (2)上記期間を経た後、集まった意見を踏まえた上で改めてインターネット上で会員に対して提案を行い、その後1ヶ月以内に全会員中1/5以上の反対票が無い場合に成立する。
 - 27 特定目的実行委員会に、以下の役員を置く。

委員長	1名
副委員長	若干名
会計役	1名
実行委員	若干名
 - 28 特定目的実行委員会各役員の任期は1年とし、翌年度の再任を妨げない。
 - 29 実行委員長は実行委員会を統括し、これを招集する。
 - 30 副委員長は委員長の活動を補佐し、必要に応じて代行を行う。
 - 31 実行委員会を構成する実行委員は、会員の互選によって選出し、運営委員会の承認と1ヶ月の公示期間を経て承認される。
 - 32 委員会は不定期に開催し、決定事項は1ヶ月の公示期間を経て承認される。